

講義名	流通史				授業形態	
担当教員	亀井 大樹	開講期・曜日・時限		前期 月曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生	ナンバリング・コード DIS263

主題と概要
華々しい「産業革命」や工業化の歴史に比べて、流通の歴史はどこか地味な印象があるのではないのでしょうか。しかし流通の歴史は実は「産業革命」に匹敵するぐらいの大きな進展があったのです。日本の流通の歴史は本格的には戦後の高度経済成長期に「流通革命」として大きく前進することになります。 この講義では日本の流通システムの特徴をまず洗い出した上で、そうした特徴がいつ成立したのかを歴史的に追っていきます。講義の序盤を卸売業と問屋制の成立と進展について、中・後盤を小売業の業態順とその展開について学びます。 本講義はあらゆるものに歴史が存在するという立場をとり、この講義を履修することで、「歴史的に考察する癖をもつ社会人」の育成をめざします。

到達目標
【第 1 段階】 意欲・態度に関する目標 目標 1 歴史を学ぶことは将来有用であることに気づく。 目標 2 現代の流通システムは過去からの連続であることを認める。 【第 2 段階】 知識に関する目標 目標 3 高校日本史探究の歴史的な用語、ビジネス基礎の概念を説明できる。 目標 4 各時代の流通史に関するキーワードを列挙することができる。 【第 3 段階】 表現に関する目標 目標 5 流通史に関するキーワードをつかって、なぜその業態が登場したかの説明できるようにする。 目標 6 この授業修了時にはなくとも一〇の事例を挙げながら日本のおける流通の歴史を説明することができる。

提出課題
【毎回課題（レスポンド回答）】 - 毎回の授業後にその日の授業内容を簡単な振り返りと感想・質問・不明点をレスポンドで回答します。 - 詳細は授業中に説明します。 - 提出にはスマホ、タブレット、パソコン等の電子機器類を用います。電子機器類を持参してください。提出期限が守られない場合は未提出扱いとなります。提出期限の延長はいかなる要望にも応じません。 【中間試験】 - 学期半ばで中間試験を行います。いつやるかは事前にアナウンスします。 - 持ち込みは全て可で検討しています。いつやるかは事前にアナウンスします。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
【毎回課題（レスポンド回答）】 - 収入印紙と感想・質問、不明点は翌週以降の授業で回答します（ただし回答数が多い場合には代表的な質問・不明点のみを取り上げ回答します）。 - 課題の回答はクラスの皆さんとシェアします。シェアを前提に回答してください。 【中間試験】 - 中間試験を行った場合には翌週以降に講評をおこないます。

評価の基準
【平常点】 20% - 授業への参加度（受講態度）およびミニッツペーパーでの質問や感想内容で評価します。 - 授業受けずに課題を提出した場合はカンニング行為とし、平常点を 0 とします。 - 私語や他の受講生の迷惑になるような行為は厳に慎んでください。 - 授業中に私語がない場合、授業協力点として、全員に +α を付与することがあります。 【中間試験】 40% - 加点課題を設定することがあります。 【定期試験】 40% - 試験期間中に学期末定期試験を行います - 学期末定期試験の受験だけで成績評価はしません。 - 持ち込みは「可」、電子機器類は「持込不可」です。 【ボーナスポイント】（最大15%） - 任意課題を履修することがあります。 - 任意課題ですので、意欲のある人のみ提出することができます。 成績評価は平常点、中間試験、定期試験、加点課題を中心に総合的に判断して行います。 成績評価の方法（加点課題等）は初回の授業で説明します。必ず出席してください。 毎回課題回収はレスポンドで行います。スマホ、タブレット、パソコン等の電子機器類を持参してください。持っていないくても当日配布限定の紙のミニッツペーパーを配布します。 学期末定期試験の受験だけで成績評価はしません。

履修にあたっての注意・助言他
【受講のルール】 - Webシラバスをよく読んで初回の授業にのぞんで下さい。 - 食事（ガムも含む）は厳禁です（水分補給のための飲み物は認めます）。 - 授業中のイヤホンの着用は厳禁です（ただし聴覚等に障害がある場合は認めます）。 - 他の受講生に迷惑がかかるので、講義中の私語は厳禁です（ただし討論を行う時は、の限りではありません）。 - ミニッツペーパーで私語による苦情があれば、翌週から予告なしに出席確認を行うことがあります。 - 逆に授業中に私語がない場合、授業協力点として、全員に +α を付与することがあります。 - 他の受講生に迷惑がかかるので、授業中に携帯電話やスマホの着信音やシャッター音を鳴らさないようにしてください。 - スマホをスマホで撮影し画像転送する場合は断りますが、その場合、マナーカメラ等のアプリを使用してください。 - 動画撮影は認めません。 - 保健のある学生がいは申し出てください。 - 体調不良で欠席した場合は医療機関の診断書等を提出してください。 - 忘引・公式試合・就職試験・教育実習等で欠席した場合には証明書を提出してください。

【修】に於ての注意・助言

【受講のルール】

- ・Webブラウザはよく読んで初回の授業にのぞんで下さい。
- ・カメラ・マイクは接続してください（含む）は接続してください（

その他
【配布資料】 - 配布資料は授業時に適宜配布します。また必要に応じてRYUKA Portalのキャンバスクロスにアップします。 【参考文献】 ・授業時に指示しますが、全体を通しての参考文献として高校歴史やビジネス基礎の教科書・資料集等をあげておきます。 - 日本史年次 - 佐藤信ら編著（2023）『詳説日本史』山川出版社。ISBN 978-4-634-70121-2 - 歴史総合 - 久保文明、中村尚史ら編著（2022）『現代の歴史総合 みる・読みとく・考える』山川出版社。ISBN978-4-634-70112-0 - ビジネス基礎 - 小松章監修（2022）『ビジネス基礎』新訂版、東京法令出版。ISBN 978-4-8090-8054-8

授業計画
【第 1 回】オリエンテーション 予習内容 Webシラバスをよく読んで、講義に臨んで下さい（120分）。 復習内容 成績評価、定期末試験について、配布プリントを読み返してください（120分）。 【第 2 回】日本の流通の特徴はすばりいうとなに？～日本型流通の特徴～ 予習内容 なぜ流通史を学ぶことが大切なのか 復習内容 授業で学んだ日本型流通の特徴にあてはまるような具体的な事例を探しておく（120分）。 【第 3 回】卸売業と問屋ってどんな仕事をしている？～日本の卸売業の多段階性～ 予習内容 身近な卸売業者や問屋をみつけておく（120分）。 復習内容 卸売業や問屋が果たす役割を深めるために、動画共有サイトの動画を視聴してノートにまとめておく（120分）。 【第 4 回】日本の問屋はいつ成立したの？～日本における問屋制の成立～ 予習内容 高校の日本史探究の該当箇所を読んで、講義に臨んで下さい（120分）。 復習内容 講義で学んだ内容を図をええながら説明できるようにしておいてください（120分）。 【第 5 回】日本にまだない小売店がなくさんあるよね～日本の小売業の多岐多様性～ 予習内容 「モノ」（財）」はどこで売られているのか、その買い手は誰なのかまとめて、講義に臨んで下さい（120分）。 復習内容 講義で学んだ内容を定観できる＆分類できるようにしておいてください（120分）。 【第 6 回】ババママ・ストアってなに？ 予習内容 一週間てつかった小売店を列挙して講義に臨んで下さい（120分）。 復習内容 講義で学んだババママ・ストアの長所と短所をまとめておいてください（120分）。 【第 7 回】中絶の歴史と今 予習内容 これまで配ったプリントを揃えて、到達目標を一覧化して、講義に臨んで下さい（120分）。 復習内容 これまで授業で紹介した到達目標を達成できるようになってください（120分）。 【第 8 回】百貨店と呉服屋はどう関係あるの？～呉服を百貨店の誕生～ 予習内容 ネットなどを使い自分が知りうる百貨店名をできるだけ列挙して、講義に臨んで下さい（120分）。 復習内容 講義で学んだ三井、三越の歴史について動画共有サイトの動画を視聴してノートにまとめておいてください（120分）。 【第 9 回】なぜ流通史を学ぶことが大切なのか？～戦後経済発展の要因～ 予習内容 ネットなどを使い自分が知りうる私鉄会社名をできるだけ列挙して、講義に臨んで下さい（120分）。 復習内容 講義で学んだ小林一三と阪急電鉄の歴史について動画共有サイトの動画を視聴してノートにまとめておいてください（120分）。 【第10回】スーパーの特長ってなに？～記/図解とセルフォービス～ 予習内容 （１）百貨店、コンビニ、スーパーのうちがうのが調べてください。（２）本学のキャッシュレジスター博物館を訪問して、講義に臨んでください。（１）と（２）をあわせて120分。 復習内容 講義で学んだスーパーの特徴について、ノートにまとめておいてください（120分）。 【第11回】スーパーで売られてるよね～総合スーパーの誕生、中内辺とダイエー～ 予習内容 本学の中内辺記念館を訪問し、講義に臨んでください（120分）。 復習内容 本学のダイエー資料館を訪問して、講義の理解を深めてください（120分）。 【第12回】ショッピングセンターにはどのような専門店チェーンが入っているのかネットとかを使って調べて、講義に臨んでください（120分）。 復習内容 ダイエーがつくったショッピングセンターがその後どう展開したのか調べてください（120分）。 【第13回】新鮮な食品を食卓に出けるにはどうすればいいの？～関西スーパーと北野拓次が果たした知られざる革命～ 予習内容 食品スーパーの売場構成をネットなどを使い調べ、講義に臨んでください（120分）。 復習内容 実際に食品スーパーなどへいき、授業で学んだたとおりなのか、ノートにまとめてください（120分）。 【第14回】コンビニって便利だけどね～日本コンビニの誕生～ 予習内容 これまで学んだ内容を踏まえて、百貨店、スーパー、コンビニ、うちがうのが調べてください（120分）。 復習内容 日本のコンビニは家族経営なのかネットをつかって調べておいてください（120分）。 【第15回】全体のまとめ 予習内容 これまで配ったプリントを揃えて、到達目標を一覧化して、講義に臨んで下さい（120分）。 復習内容 これまで授業で紹介した到達目標を達成できるようになってください（120分）。 【学期末定期試験】 試験の多くでクリック（レスポンド）をつかいます。 授業テーマについては、学生の理解状況にあわせて、変更・删殺される場合があります。

授業形態（アクティブ・ラーニング）			
	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
本講義を受講することで、「流通科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力」のうち、「（２）知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材」と「（３）創造力（新しい視点と豊かな発想）を持った人材」に寄与することができるようにする。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
【ICT活用】 課題の回収はレスポンドで行います。スマホ、タブレット、パソコン等の電子機器類を持参してください。

実務経験の有無及び活用
なし。
備考
特になし。